

プレイバック&データ

第34回 岩手ダービーダイヤモンドカップ 2000m/11頭/盛岡 晴良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	調教師	タイム	着差	人気
1	④	ライズライン	岩手	牡	5/6	村上忍	千葉幸	2.10.7	①	
2	⑥	シグラップロード	岩手	牡	3/5/6	山本聡	板垣吉	6	③	
3	⑧	ラバレット	岩手	牡	3/5/6	齋藤雄	菅原勲	大差	④	
4	⑦	フラッシュモブ	岩手	牝	3/5/4	西谷泰	関本浩	½	⑦	
5	⑤	グランドバリュー	岩手	牡	3/5/4	山本政	櫻田康	½	⑥	



第34回(2014)ライズライン

レビュー 2歳時に若駒賞、南部駒賞を制し、前走のやまびこ賞を7馬身差で圧勝したライズラインが単勝1.2倍の断然人気。前走よりマイナス16kgの馬体重は心配されたが、楽に2番手でレースを進め、最後の直線では独走に。6馬身差の2着には3番人気のシグラップロードが入ったが、そこから3着馬までは2.2秒もの差がついた。

第33回 DATA 2013

盛岡/2000m/11頭/2013.6.3/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	⑧	⑪	ウイゼロワン	岩手	牡	5/6	高松亮	2.12.7	④
2	⑧	③	ハカタドンタク	岩手	牡	5/6	山本政	1½	①
3	⑥	⑤	テンショウリバイヴ	岩手	牡	5/6	山本聡	4	⑧

第32回 DATA 2012

盛岡/2000m/11頭/2012.6.4/晴良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	⑧	⑩	アスペクト	岩手	牡	5/6	山本政	2.07.3	②
2	⑦	⑧	ロッソコルサ	岩手	牡	5/6	村上忍	2	①
3	②	②	トーホクアロー	岩手	牡	5/6	山本聡	大差	③

第31回 DATA 2011

盛岡/2000m/10頭/2011.6.3/豊良

順	種	馬名	所属	性	年齢	騎手	タイム	着差	人気
1	⑧	⑩	ベストマイヒーロー	岩手	牡	5/6	菅原勲	2.11.8	①
2	②	②	スパルタン	岩手	牡	5/6	陶文峰	5	⑥
3	④	④	ヤマトスバル	岩手	牡	5/6	小林俊	½	②

データ分析

単勝人気別成績

※過去9年間のデータを分析

単勝人気	成績	勝率	連対率	3着内率
1番人気	6-2-1-0	66.7%	88.9%	100%
2番人気	2-2-1-4	22.2%	44.4%	55.6%
3番人気	0-4-2-3	0%	44.4%	66.7%
4番人気以下	1-1-5-64	1.4%	2.8%	9.9%

レポート 岩手ダービーダイヤモンドカップは、単勝1番人気馬が強いレース。3着に敗れたのは2008年だけで、そのほかはすべて2着以内となっている。4番人気以下で勝利したのは一昨年のウイゼロワン(4番人気)だけで、2着も2011年のスパルタン(6番人気)のみだ。

馬体重別成績

※過去10年間のデータを分析

当日の馬体重	成績	勝率	連対率	3着内率
400kg未満	0-0-0-2	0%	0%	0%
400~440kg	1-1-2-21	4.0%	8.0%	16.0%
441~460kg	2-4-2-19	7.4%	22.2%	29.6%
461~480kg	2-2-3-13	10.0%	20.0%	35.0%
481~500kg	3-1-0-14	16.7%	22.2%	22.2%
501kg以上	1-1-2-2	16.7%	33.3%	66.7%

レポート 岩手ダービーの舞台は、ホームストレッチにある上り坂を2回クリアする必要があるタフなコース。そこに対応するためにはある程度の馬格があったほうが有利といえそう。2009年は402kgのマヨノエンゼルが制したが、相対的にはいまひとつだ。

2走前までに〇〇賞を勝利していた馬に注目!

※過去9年間のデータを分析

年度	着順	馬名	該当レース
06年	1着	オウシュウクラウン	前走 はまなす賞
	2着	サイレントエクセル	2走前 留守杯日高賞
07年	1着	セントセーリング	前走 阿久利黒賞
	2着	マツリダワルツ	前走 ひまわり賞
08年	1着	ゴールドンクリーク	前走 七時雨賞
09年	1着	マヨノエンゼル	2走前 阿久利黒賞
10年	1着	ロックハンドスター	前走 阿久利黒賞
	2着	モエレフットライト	前走 七時雨賞
11年	1着	ベストマイヒーロー	前走 七時雨賞
12年	2着	ロッソコルサ	前走 七時雨賞
13年	2着	ハカタドンタク	前走 はまなす賞
14年	1着	ライズライン	前走 やまびこ賞

レポート ダービーウィークが始まって以降、岩手ダービーでは毎年「2走前までに〇〇賞」を制していたという馬が1頭以上連対。最近4年は「1頭だけ」連対しているのが特徴的。今年もそういった戦歴をもっている馬には要注目だ。



第33回(2013)ウイゼロワン



第32回(2012)アスペクト(右)